

研修の骨子

鈴木中人

1. 狙い

時代は、全てが劇的に変わり、不確実に揺れ動く。**揺るぎなく生きる・働くためには、根っこを育む**ことが大切。いのちをキーワードに、**根っことは何か・根っこを育む意味・自分を変えることに向き合い、働く・人間関係・家族・しあわせをみつめ**、人間的資質を育み、組織人・社会人としての人間力を高める。

2. 進め方

(1) 考え方

- ・講師の実体験、双方向の意見交換、受講者自身の自問自答と気づきを通じて、自己改革への実践の第一歩を促す（単なる知識・スキル論ではなく、共鳴・発見・感動を基本にする）

(2) スケジュール（目安）

時間	内容	資料
09:00～10:15	テーマ1：根っこを育む ①挨拶、研修概要説明 →自分をみつめるための動機付けを行う ②何のために生きるのか、働くのか、どんな人間になりたいかを考える →個人発表（数名） ③講話「根っこを育む」 →一人の人間として、企業人として身につける「人間的資質」を考える 祈る＝人の心、道徳＝コンプライアンス、歴史＝アイデンティティ 世代責任＝役割、根っこ＝目指すべき資質の姿、企業人として意味	資料1
10:15～10:25	《休息》	
10:25～11:50	テーマ2：自分を変える～人が根本から変わるとき ①講話「自分を変える～私の歩み」 →闘病、小児がん支援、早期退職、NPO 立ち上げの体験 いのち・家族・絆の大切さ、普通に生きることへの感謝を実感する ②何を思うとき、人は根本から変わるかを考える →個人発表数名 ③講話「人が根本から変わるとき」→人間力を育む真理を考える テーマ3：大切なこと ～働く、ご縁、家族、しあわせ 講話「大切なこと」→講師体験を基に、いきいき生きるための「ヒント」を考える テーマ4：自己改革宣言 ①心に刻む言葉、今までとこれからの自分 →個人発表数名 ②まとめ	資料2
11:50～12:00	・事務局アンケート等	

(3) 運営

- ・受講者の机はおかずに、半円状にイス席を並べる。問いかけなど意見交換する運営に心がける。
- ・資料1、2を受講者分コピー下さい。
- ・パワーポイントを使用しますのでPC・ハンドマイク・ホワイトボードをご準備下さい。USBを持参。

以上